

# 常識門の修復内容（実施設計図）

令和7年3月 中野区

哲学堂七十七場の1つである「常識門」は、近年の台風で門扉の一部が剥がれたり、柱の腐朽、垣根の傷み、聯（れん）の文字が判読できないなど、激しい破損や劣化が見られるため、全体的に修復を行う。

## 修復の基本的な方針

修理等の工事履歴の調査から、現在の姿や多くの部材は、建築当初（明治 42 ～ 45 年）のオリジナルの状態まで遡る根拠はないが、少なくとも中野区指定有形文化財に指定された昭和 63 年までは遡ることができる。

このことを踏まえ、**中野区有形文化財に指定された昭和 63 年時点での姿や部材を尊重し、可能な限り既存の部材を再利用又は部分的に再利用して修復する**方針とした。

## 修復設計図

※一部変更等となる場合があります。

### 主な撤去・新設部材

- ・木部は、原則として木材保護塗料による古色塗りを行う。
- ・材種はヒノキを主とする。

### ●控柱

地際と柱頭部が腐朽しているため、腐朽部分を継木する。



### ●本柱

地際と上部が腐朽しているため、腐朽部分を継木する。



### ●大扉

框、棧、堅板に腐朽や変形が見られるため、腐朽部分を継木する。

### ●聯（れん）

腐朽し、文字が判読できないため、複製を制作する。（収蔵庫に保管されている現物をもとに 3D スキャナ計測等を行う）  
なお、現在の聯の位置は東西が逆であるため、西側本柱に「四聖堂前月白風清 戌申之歳」、東側本柱に「六賢臺上山紫水明 圓了題」を掛けることとする。



### ●小脇扉

全体的に腐朽が進み、ゆがみも発生しているため、撤去・新設とし、樹種はスギ（既存）から水に強いヒノキへと変更する。



### ●建仁寺垣

腐朽・欠損が著しいため、全て交換する。一部、直接土に触れることがないように根元に玉石を据える。



中野区立哲学堂公園内古建築調査報告書（昭和 62 年度、中野区教育委員会）より

## ●修理等の工事履歴（資料調査・聞き取り調査等による）

| 建築年<br>修理年   | 概要                          | 主な（判明している）修理等の内容                                                                                                                                                                    |
|--------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治 42 ～ 45 年 | 常識門の建築工事                    |                                                                                                                                                                                     |
| 昭和 40 ～ 63 年 | —                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・西側本柱の交換及び西側本柱の根巻金物の新設</li> <li>・西側本柱の根巻コンクリートの新設（もしくは撤去・新設）</li> </ul>                                                                      |
| (昭和 63 年)    | (区の有形文化財に指定)                |                                                                                                                                                                                     |
| 平成 3 年       | ルネッサンス整備工事の一環としての常識門の部分修理工事 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本柱の兜巾包み金物の撤去・新設</li> <li>・大扉の角型化粧釘抜け箇所の新設</li> </ul>                                                                                        |
| 平成 21 年      | 小脇扉の部分修理工事                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小脇扉の下部の一部を継木補修</li> </ul>                                                                                                                   |
| 平成 25 年      | 小脇扉の門柱（小脇柱）取替工事             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小脇柱の基礎ブロックの撤去・新設</li> <li>・小脇柱の撤去・新設</li> <li>・小脇柱の根巻金物の新設</li> <li>・小脇扉の裏面四角角の L 型金物補強</li> <li>・小脇扉周りの案内板の移設</li> <li>・建仁寺垣の復旧</li> </ul> |

| 建築年<br>修理年 | 概要          | 主な修理等の内容                                                       |
|------------|-------------|----------------------------------------------------------------|
| 不明         | 西側大扉の部分修理工事 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・西側大扉の西側縦框下部</li> </ul> |
| 不明         | 西側大扉の部分修理工事 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・西側大扉の西側縦框上部</li> </ul> |

